

デジタルスキル標準(DSS) 準拠

HCD基礎検定

2026年10月31日(土)

次回は2027年3月6日予定

申し込み締切り間近！
10月13日(火)13:00

利用者視点のマインドセットと知識を
すべてのビジネスパーソンに

～ AI時代に必須の「問いを見つける力」を身につける ～

HCD基礎検定（HCD検®）とは？

企画・開発・設計・品質保証・調達・営業・サービスなど幅広い関係者が、人間中心デザイン（Human Centered Design、以下HCD）の理念を理解し、共通言語として基礎知識・マインドを学び、HCDの専門家やUX/UIデザイナーとの協業・共創を効果的・効率的に進めていくための検定制度です。顧客起点と共創を前提に、仮説⇄検証プロセスを、素早く繰り返すことを、コンセプトとしており、DX実現を支えるだけでなく、これからの時代、誰にでも必要なマインド、知識、スキルです。

受験
の
流
れ

2026年 7月10日 金 受験申込開始

10月14日 水 事前学習サービス利用開始
(テキスト・映像)

9月 7日 月 受験説明会

10月31日 土 検定試験実施 13:00～

2026年10月13日 火 申込締切

11月16日 月 合否発表

応募資格

受験資格は特にありません。

形式

オンライン形式・50問（単一選択式）

出題範囲

HCDの理念・マインド、共通言語、手法・プロセスに関する知識と人間工学、認知工学などの人間の特性に関わる基礎知識。

受験メリット

- DXの実現、デジタル製品・サービスの構築に必須のアプローチ方法である人間中心デザイン(HCD)の基礎知識、基本プロセスを体系的に学べる
- 事前学習サービス(映像、テキスト)を使って、人間中心デザインの基礎知識を、自分のペースで効果的、効率的に学べる

検 定 料

一般価格 **15,000**円（消費税込）

学生価格 **8,000**円（消費税込）

申込先・お問合せ



実施概要・申込先URL

<https://hcs-cc.org/hcd/apply/>

事務局

secretariat@hcs-cc.org

人間中心デザインとは

新たな時代に即した人材に必要な不可欠な知識・マインド

近年のデザインマネジメントを基軸にしたデザイン経営やデジタルトランスフォーメーション（DX）における一つの核となる考え方で、Society5.0の人間中心の考え方にも通底しています。

コアとなるコンセプトは、モノ・コトに対して、「利用者視点」と「共創」によって新しい価値を生み出すことであり、顧客起点と共創でを前提に、「仮説⇔検証プロセス」を、素早く繰り返すことです。



受験者の声

HCD基礎検定で深まる！サービスデザインの理解とエンジニアの役割

人間中心デザイン（HCD）というと、「デザイナーや企画担当の領域では？」、「エンジニアは関係ないのでは？」と思われるかもしれませんが、「ユーザー体験（UX）価値の最大化」という点からは、HCDを実践することで利用者目線に立ち、「このように使いなさい」と押しつけるのではなく、利用者と開発者双方にとって、より良い状態を築き上げていくことができます。エンジニア自身がコード変更の影響を最も早く、間近で確認できるテスターであり、UI/UXの改善点にも最初に気づける存在です。エンジニアもHCDの基礎を学び、「ああでもない、こうでもない」とデザイナーと密なコミュニケーションを取れるようになることこそが、価値を高めやすく、ユーザーの満足度も向上させると言えます。

内容はしっかり体系化されており、ノンデザイナー向けの検定なのでチャレンジしやすく、受験を通して、サービスデザインの重要性和、エンジニアとしての役割を改めて認識することができました。

今後はHCDの知識を活かし、ユーザーに寄り添った開発を心がけ、より良いサービスを創造してゆくつもりです。



← 合格者の声サイト

KDDIアジャイル開発センター株式会社
ソフトウェアエンジニア
服部 好晃さん

一般社団法人人間中心社会共創機構について

人間中心デザインの基礎知識とマインドセットをすべての人に

一般社団法人 人間中心社会共創機構（略称:HCS共創機構）は、デジタルトランスフォーメーション（DX）、Society5.0の時代に、「人間中心デザインの考え方と基礎知識をすべての人に！」を目標に設立しました。デザイン思考、UXデザイン、利用時品質、サービスデザインなどに関わるさまざまな人々、団体とともに「HCD基礎検定（略称：HCD検®）」を通じて、利用者中心、日本発の人間中心の社会の実現を目指してゆきます。



一般社団法人
人間中心社会共創機構



WebサイトURL
<https://hcs-cc.org>